

### 第3問 答案用紙<1> (経済学)

問題1

問1

$$180t - t^2$$

問2

A国の輸入量：

50

財価格：

75

A国の厚生：

625

問3

$$X_{RD} = 300 - 4p$$

問4

781.25

問題2

問1

第1期：

$$Y_1 + B = C_1$$

第2期：

$$Y_2 - S = C_2$$

2期間の予算制約式：

$$Y_1 + \frac{1}{1+r} Y_2 = C_1 + \frac{1}{1+r} C_2$$

問2

代替効果：

利子率上昇の効果として機会費用が増加するので、 $C_1$ は減少するが、 $C_2$ は

増加する。

所得効果：

第1期の消費が上級財であることから、 $C_1$ は減少するが、 $C_2$ は増加するか

減少するか不確定である。

全部効果：

$C_1$ は必ず減少するが、 $C_2$ は増加するか減少するか不確定である。

問3

$t_y =$

$$\frac{t_c}{1 + t_c}$$

問4

第1期の消費水準：

$$0.25 \left( Y_1 + \frac{1}{1+r} Y_2 \right)$$

第2期の消費水準：

$$0.75 \left( Y_1 + \frac{1}{1+r} Y_2 \right)$$

問5

$$Y_1 = \frac{1}{3(1+r)} Y_2$$

第3問 答案用紙<2>  
(経済学)

問題3

問1

3

問2

0

理由：長期均衡とは、平均費用と平均収入である価格が均等化して、利潤が0となる状態である。したがって、定義により利潤は0である。本問に即して説明すると、個別企業の生産量は2であり、価格が3であるから、総収入は6となる。一方総費用は、 $C = 2^3 - 4 \times 2^2 + 7 \times 2 = 6$ となり、利潤は0となる。

問3

3

問4

10

問5

5

問6

9

問7

2

# 第4問 答案用紙<1> (経済学)

## 問題1

- (1) (ア) 日本銀行政策委員会 (イ) 2 (ウ) 国債
- (2) (エ) 購買力平価 (オ) 実質為替相場

## 問題2

(1) 正・**誤**

誤っている理由 訪日外国人客の増加は、旅行収支の受取りを増加させるため、赤字は縮小するはずである。

(2) 正・**誤**

誤っている理由 歳入と歳出を均等化させるためには、国債等の償還による元本返済額に加えて利払い費を含めなければならない。

(3) 正・**誤**

誤っている理由 預金の購買力を求めるには、期待インフレ率ではなく、実現されたインフレ率を用いなければならない。

## 問題3

問1

200

問2

0.6 %

問3

$$\pi = \frac{2}{3}$$

問4

$$Y^* = \sqrt{10}$$

## 問題4

問1

$$r = 14 - 0.05Y$$

問2

$$r = 2 + 0.01Y$$

問3

$$Y = 200$$

問4

$$M = 175$$

問5

$$Y = 280$$

問6

流動性の罭

第4問 答案用紙<2>  
(経済学)

問題5

問1

$$\Pi = pK^\alpha L^{1-\alpha} - wL - rK$$

問2

$$\frac{K}{L} = \left(\frac{r}{p\alpha}\right)^{\frac{1}{\alpha-1}}$$
$$\frac{K}{L} = \left\{\frac{w}{p(1-\alpha)}\right\}^{\frac{1}{\alpha}}$$

問3

$$\frac{K}{L} = 2$$

問4

資本分配率は $\frac{rK}{pY}$ と定義される。この定義に **問2** の結果を適用すると、 $\frac{rK}{pY} = \alpha$ を得る。